

目指すべき都市構造・誘導方針の 検討について

～立地適正化計画検討のポイント～

立地適正化計画検討にあたり

立地適正化計画は、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等の様々な都市機能の誘導により、都市全域を見渡したマスタープランとして位置づけられる「市町村マスタープランの高度化版」であるとともに、将来の目指すべき都市像を実現する「戦略」としての意味合いをもつものです。

策定のポイントとなるのは、以下の3つとなります。

●まちづくりの方針（ターゲット）の検討

→どのようなまちづくりを目指すのか。

←今回検討①

●目指すべき都市の骨格構造、課題解決のための
施策・誘導方針（ストーリー）の検討

→どこを都市の骨格にするのか。都市が抱える課題を
どのように解決するのか。

←今回検討②

→どこにどのような機能を誘導するのか。

←今回検討③

●誘導施設、誘導区域等及び誘導施策の検討

→具体的な施設、区域をどう設定するのか。

←次回検討

→施設を誘導するためにどのような施策を講じるのか。

立地適正化計画検討のポイント

これまでに全国で多くの立地適正化計画が策定されてきましたが、国土交通省の資料において、次のように指摘されています。

●多くの都市においては、まちづくりの方針（ターゲット）、目指すべき都市の骨格構造、課題解決のための施策・誘導方針（ストーリー）の検討がなされないままに、「誘導区域等の検討」に囚われがちです。



さらに、都市の防災性を高めることも視野に入れ、どのような都市の姿を目指すのか、検討します。